

群馬県衛生環境研究所・食品安全検査センター

令和6年度 業績発表会プログラム

開会 13:30

開会のあいさつ

衛生環境研究所長 猿木 信裕

<衛生環境研究所（環境）> 13:35～14:05

座長：衛生環境研究所 主席研究員（水環境係長） 太田正徳

1. マイクロプラスチック調査体験ツアーについて

水環境係 小淵和通

国際的な問題となっている海洋プラスチックごみ問題について学ぶことを通して、自ら考え、動き出す「始動人」を育成する一環として、親子を対象とした利根川流域におけるマイクロプラスチック調査体験ツアーを実施したので、その内容について報告する。

2. 都市域およびバックグラウンド地点における大気中揮発性有機化合物の実態調査

大気環境係 熊谷貴美代

大気中の揮発性有機化合物（VOC）には、有害な物質や光化学オキシダントの原因となる物質などが存在する。大気汚染対策に資する基礎データの取得を目的に、県内都市域および赤城山において、大気中 VOC の通年観測を行ったので、その結果について報告する。

<衛生環境研究所（感染症・保健）> 14:05～14:35

座長：衛生環境研究所 主席研究員（感染制御係長） 吉住正和

3. 令和6年度感染症流行予測調査の結果について

感染制御係 河合優子

感染症流行予測調査は、国が主体となって毎年実施している事業である。今年度、群馬県ではヒトの麻疹、風疹、インフルエンザと、ブタの日本脳炎について調査を行ったので、その結果について報告する。

4. 群馬県における新型コロナウイルス感染症の現状について

研究企画係 島田諒

群馬県では、地域における感染状況の把握を目的として、新型コロナウイルスの全ゲノム配列の解析を実施している。また、感染症流行予測調査事業の一環として、令和6年度は新たに中和抗体価の検査も実施した。本発表では、それらの取り組みを踏まえ、当県における新型コロナウイルス感染症の現状について報告する。

<食品安全検査センター> 14:35~15:05

座長：食品安全検査センター 主席研究員（残留農薬検査係長） 庄司正

5. 「LC/MSによる動物用医薬品等の一斉試験法Ⅰ(畜水産物)」変法を用いた鱒、牛肉、豚肉及び鶏肉の妥当性評価試験結果 **食品・医薬品検査係 丹羽祥一**

当センターでは「LC/MSによる動物用医薬品等の一斉試験法Ⅰ(畜水産物)」に準じた検査法を用いて、残留動物用医薬品試験を行っている。新たに検査法の改変を行い、鱒、牛肉、豚肉及び鶏肉の妥当性評価試験を行ったところ、良好な結果が得られたので報告する

6. 食品に混入した農薬による有症事案への対応について～地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック模擬訓練事業の試験結果～ **残留農薬検査係 岡田智行**

地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック（令和6年度事務局：横浜市）主催の「食品に混入した農薬による有症事案への対応を想定した模擬訓練」に参加し、原因物質の特定及び定量を行った。この訓練を通し、農薬の有症事案への対応について検討したので報告する。

閉会のあいさつ

食品安全検査センター所長 牧岡正善

閉会 15:10（予定）